



26号 令和6年1月26日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

校長だより(職員編)

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠

学校関係者評価委員の皆様から見た阿賀小の現状

中尾委員

- 児童や先生の頑張りがよく分かった。
- 標準学力調査で、それぞれの学年の1年前の結果と比較したとき、大きく伸びていることは大いに評価できる。
- 「学校が楽しい」と答えた児童の割合が非常に高いことは多いに評価できる。
- 「食・睡眠・体力づくり」のバランスにこだわった指導・啓発を継続するとよい。

谷委員

- 教員の欠員がいる状況をよく乗り切っている。
- 授業の様子が大変落ち着いている。
- 児童と先生の関係がよい。
- 児童同士もお互いに受け入れる雰囲気がある。
- ICTの効果的な活用の様子が見られる。
- 児童が主体となって取組を工夫し、児童発信で学校をよりよくしようとする仕組みができている。
- 職員が効率よく時間を使って業務を進める等、自己管理に努めているように見える。

河本委員

- 学校の取組はよく分かっているつもりだが、一般の保護者の方にも学校の取組や頑張りをよく知ってもらいたい。
- 家庭で、我が子に対しスマホやタブレットを与えている状況はある意味時代の流れではあるが、そのことによる弊害については、保護者もしっかり踏まえ、我が子への指導をしっかり行う必要がある。

